

論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 石川翔子
論文審査委員	主査 八田光世 印
	副査 古村南夫 印
	副査 畠山雄次 印
論文題目	Inhibition of retinoid X receptor improved the morphology, localization of desmosomal proteins and paracellular permeability in three-dimensional cultures of mouse keratinocytes
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>レチノイン酸は上皮の恒常性維持に影響を与えることが知られており、レチノイン酸受容体 (RAR) とレチノイド X 受容体 (RXR) のヘテロ二量体が細胞応答に重要な役割を担っている。本研究論文は、RXR 阻害剤 (HX531) により RAR/RXR ヘテロ二量体を介したシグナル伝達阻害が、K38 角化細胞の三次元培養における形態と細胞間結合に与える影響について解析を行ったものである。三次元培養系に HX531 を添加することで、非角化重層扁平上皮がより生体上皮に類似した形態に変化することが示された。さらにデスモソーム蛋白 (DSG1, DSG3, PG) の発現増加と層特異的分布、タイト結合蛋白 (CLDN1, CLDN4) の発現増加と CLDN1 のタイト結合への局在化、細胞間透過性の低下が認められた。</p> <p>論文提出者は、論文審査において研究の背景・目的、実験手法、結果・考察を明確に示し、質疑に対して的確に回答した。本研究は非角化重層扁平上皮における恒常性維持の分子機構の理解に資する興味深い知見であり、今後のさらなる展開を大いに期待させるものであった。以上より、本研究論文を学位申請論文として適格であると評価し、審査結果を合格と判定した。</p>	